

# 愛南町公共施設等総合管理計画の主な改訂内容

## 1 改訂概要

国（総務省）の「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」の改訂（平成30年2月）を受け、現行の愛南町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）を新たな策定指針に基づき、個別施設計画（令和3年3月）の内容を踏まえて改訂するものです。

## 2 改訂内容

### （1） 国の指針改訂による追記

#### ① 施設保有量の推移（P7）

平成27年度末時点と令和2年度末時点での施設保有量の増減を記載しました。

#### ② 有形固定資産減価償却率の推移（P8）

有形固定資産減価償却率とは、保有している有形固定資産のうち、償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合を算出したもので、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているのかを全体として把握できます。

#### ③ 過去に行った対策の実績（P11）

「個別施設計画の策定」、「建築系公共施設の削減」、「指定管理者制度の導入」、「PFI方式の導入」、「経営戦略の策定」について記載しました。

#### ④ P D C Aサイクルの推進方針（P48）

計画・実行・評価・改善サイクルを活用する体制構築について記載しました。

#### ⑤ ユニバーサルデザイン化の推進方針（P54）

公共施設等の整備、改修等にあたっては、乳幼児、妊婦、高齢者、障がい者、外国人など全ての人が安全かつ安心して施設を利用できるようユニバーサルデザイン化の推進について記載しました。

### （2） 個別施設計画策定に伴う改訂

「第2項 更新等費用の将来見通し」について、個別施設計画を反映した場合の見込みを追記しました。（P42）

当初計画では、新築から30年で大規模修繕、同60年で建替えを実施するという条件で60年間にわたる公共施設等の将来更新費用を推計し、年平均30億円の更新費用が必要となる見込みでしたが、令和3年3月に策定した20年間の個別施設計画を反映した結果、年平均18億円の更新費用が必要となる見込です。

### （3） 時点修正

基礎的な数値の更新や、本町の現況を踏まえた表記の時点修正を行いました。